

| | | | | | |
|----|-----|----|------|-----|-----------|
| 教科 | 数学科 | 学年 | 第1学年 | 担当者 | 越川聡・十津川壮太 |
|----|-----|----|------|-----|-----------|

【教科目標】

- ・小学校からのスムーズな移行をはかり、基礎・基本的な問題を解くことができる。
- ・自ら課題を見つけ、論理的な考え方をを用いて問題解決をはかる力をつける。

【使用教科書・教材等】

教科書：新しい数学1（東京書籍）
 教材：みんなの学習クラブ、単元1回数学1（明治図書）

【学習計画】

| 学期 | 単元名 | 学習のねらい（身につけたい力） | 準備物 |
|-------------|---------------|---|--|
| 1 学 期 | (0) 算数から数学へ | ○自然数、素数、素因数分解の意味を理解し、算数から数学へスムーズに移行することができる。 | 教科書 ワーク ファイル 定規 iPad |
| | (1) 正負の数 | ○正の数と負の数について、具体的な場面での活動を通して理解し、その四則の計算ができるようにする。 ・正の数、負の数の必要性に気づき、正の数、負の数の性質や関係を調べることができるようにする。 ・正の数、負の数の四則計算の意味を理解し、簡単な計算ができるようにする。 | |
| | (2) 文字と式 | ○文字を用いて関係や法則を式に表現したり、式の意味をよみとったりできるようにするとともに、文字を用いた式の計算ができるようにする。 ・文字を用いることの意義を理解し、数量の関係や法則を式に表現したり、式の意味をよみとったりすることができるようにする。 ・文字を用いた式における乗法、除法の表し方を知り、式を簡潔に表現することができるようにする。 ・簡単な1次式の加法と減法の計算や数と1次式の乗法・除法の計算ができるようにする。 | |
| 2 学 期 | (3) 方程式 | ○方程式について理解し、それを用いることができるようにする。 ・方程式およびそのなかの文字や解の意味を調べることができるようにする。 ・等式の性質を見だし、それにもとづいて方程式を変形して解くことができるようにする。 ・方程式を利用して、問題を解決することができるようにする。 | 教科書 ワーク ファイル 定規 コンパス iPad |
| | (4) 比例と反比例 | ○具体的な事象のなかにある2つの数量の変化や対応を調べることを通して、比例、反比例の関係を見だし、表現し、考察することができるようにする。 ・比例、反比例の意味を理解し、事象のなかにある比例、反比例の関係を見だすことができるようにする。 ・表、式、グラフを用いて、比例、反比例を表したり、その特徴を調べることができるようにする。 ・具体的な事象の考察に、比例、反比例の見方や考え方を活用することができるようにする。 | |
| | (6) 平面図形 | ○平面図形についての理解を深めることができるようにするとともに、基本的な図形を見通しをもって作図することができるようにする。 ・角の二等分線などの基本的な作図の方法を理解し、作図することができるようにする。 ・平行移動・対称移動・回転移動について理解し、2つの図形について調べることができるようにする。 | |
| 3 学 期 | (7) 空間図形 | ○図形を観察、操作や実験を通して考察し、空間図形についての理解を深めることができるようにする。 ・空間における直線や平面の位置関係を調べることができるようにする。 ・空間図形を直線や平面の運動によって構成されていると見ることができるようにする。 ・空間図形を平面上に見取図や展開図を用いて表現することができるようにする。 ・おうぎ形の弧の長さや面積や基本的な柱体、錐体、球の表面積と体積を求めることができるようにする。 | 教科書 ワーク ファイル 定規 iPad |
| | (8) データの分析と活用 | ○目的に応じて資料を収集し、ヒストグラムや代表表を用いてその資料の傾向が読みとれるようにする。 ・相対度数の表やヒストグラム、相対度数折れ線から、データの分布のようすや特徴を読みとることができるようにする。 ・多数回の実験や観察の結果から確率を考え、起こりやすさの傾向を読み取って判断し、その根拠を説明できるようにする。 | |

【評価の観点と評価の方法】（通知表のつけ方）

| 評価の観点 | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|----------|--|---|---|
| 評価の観点の趣旨 | ○数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。 | ○数学を活用して事象を論理的に考察したり、数量や図形などの性質を見だし統合的・発展的に考察したり、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現したりしている。 | ○数学的活動の楽しさや数学の良さを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしている。 |
| 評価の方法 | ○単元テスト ○小テスト ○学習の様子 ○提出物 | ○単元テスト ○小テスト ○レポート ○提出物 | ○授業の様子 ○レポート ○準備物・提出物 ○発表の様子 |

【授業の受け方・学習のポイント】（担当の先生からのアドバイス）

- 1 授業で大切にすること
- ① 説明や仲間の意見をしっかりと聴く。
 - ② 学びあい学習をする。（わからなければ質問する、質問されたら応える、質問しやすい雰囲気をつくる）
 - ③ 授業を大切にすること。（私語をせず、集中して授業に参加する）
 - ④ 繰り返し問題を解いて、知識・解法を身に付け、黒板に書いてなくても、先生の言った言葉や、わかったこと、感じたことなども書く。
 - ⑤ 課題を確認して提出する。iPadで課題を提出することがあるので、毎回iPadの準備をする。

【家庭学習の進め方・学習のポイント】（担当の先生からのアドバイス）

- 1 予習、復習をしっかりと行うこと
- ① その日に学習した内容を必ず復習する。（学習した内容の問題を再度解く）
 - ② その日に出た宿題は、必ずその日にやりきる。
 - ③ 次の学習内容を予習し、わからない所を明らかにしてから授業に臨む。